



2017年度

「人権擁護とソーシャルワーク」研修

(厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染症の医療体制の整備に関する研究」班共催)

本研修は、医療ソーシャルワーカーやその他の専門職が「人権擁護」の視点から対象者を取り巻く社会現象を理解し、参加者それぞれの立場における支援を考えるものです。

抗 HIV 治療の進歩により HIV 陽性者の生命予後は劇的に改善し、良好なコントロールのもとで通常の社会生活が送れるようになりました。それに伴い陽性者も高齢化し非 HIV 関連疾患（脳梗塞、糖尿病、がん等）の発症や様々な社会生活上の課題を抱える方が増えています。しかし多くの地方都市では、陽性者支援経験のある実践者が身近になく孤軍奮闘されているソーシャルワーカーも少なくありません。昨年度に引き続き今年度も HIV 陽性者を取り上げ、実践において日頃抱えている不安や疑問を共有し、質の高い支援を考えることを目的とします。

今年度の会場は地域の特徴や地域文化にも着目し、福岡、仙台の2か所で行います。両研修とも認定ポイントは7ポイント、参加費は無料です。皆様のご参加を心からお待ちしております。

開 催 地	福岡会場	仙台会場
テ ー マ	『多職種連携により支援の質を高めよう』	『患者理解を深め、 今後の支援に生かしていこう～』
日 時	2017年12月17日（日）9：30-16：30	2018年1月14日（日）9：30-16：30
会 場	九州医療センター（福岡市）	仙台医療センター（仙台市）
対 象	HIV陽性者への支援経験あるまたは今後可能性のあるソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護師等医療福祉介護従事者	ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、看護師等医療福祉介護従事者
定 員	70名	50名
募 集 期 間	2017年9月4日～10月6日	2017年10月9日～11月10日
プログラム (予 定)	講義1：人権擁護の観点からHIV陽性者支援について支援者に求められること 講義2：HIV/AIDSの最新情報 ①医療②社会資源 講義3：当事者から支援者へのメッセージ 演 習：困難事例検討を含む多職種でのグループワーク	講義1：人権擁護の観点からHIV陽性者支援について支援者に求められること 講義2：血友病/HIV/AIDS 免疫と最新治療 講義3：HIV陽性者との関わり・ケアについて 講義4：HIV陽性者の社会資源について 講義5：受入れ経験のある施設の対応と現状 講義6：当事者から支援者へのメッセージ 演 習：意見交換や事例検討などのグループワーク

研修の申込方法

当協会ホームページの研修情報の同研修案内または本研修スケジュールの受講申込書フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

お問い合わせ先

公益社団法人日本医療社会福祉協会 事務局

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2F

TEL：03-5366-1057 FAX：03-5366-1058

E-mail：jaswhc@d3.dion.ne.jp

U R L：http://www.jaswhs.or.jp/

2017年度 人権擁護とソーシャルワーク 研修

「HIV 陽性者へのソーシャルワーク

～多職種連携により支援の質を高めよう～

プログラム

会場： 国立病院機構 九州医療センター 研修室（外来棟4階）

	時 間	内 容
	12/17（日） 9:30	開場 受付開始
	10:00～10:05	開会あいさつ 趣旨説明
1	10:05～11:05	【講義 1】「人権の擁護と HIV 陽性者支援」 特定非営利活動法人 ぶれいす東京 代表 生島嗣 氏
2	11:05～11:35	【講義 2】「HIV/AIDS 医療の最新情報」 国立病院機構 九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター部長 医師 山本 政弘 氏
3	11:45～12:15	【講義 3】「HIV/AIDS 社会資源・地域連携」 熊本大学医学部附属病院 地域連携室 MSW 上村 裕子 氏
	12:15～13:10	昼食（各自でお取りください）
4	13:10～14：00	【講義 4】「当事者から支援者へのメッセージ」 血友病 HIV 薬害被害患者 K 氏
5	14:00～16:20	【演習】グループワーク 座長 大阪医療センター MSW 岡本 学氏 HIV 陽性者への支援の質を高めるために ～HIV 陽性者が豊かに暮らせる地域作り、私たちができること とは？多職種との連携の視点から～
6	16:20～16:30	まとめ アンケート記入

<お願い>

プログラム内容・時間は、講義の進行の都合で変更する場合がございますのでご了承ください。